



六百二十三キロ

ユウパリコザクラの会代表 藤井 純一

ユウパリコザクラの会では夕張岳の木道の中で、朽ちていて危険な木道の撤去事業を二年計画で行いました。コロナの影響で一年遅れましたが、昨年前岳湿原に集積しておいた木道廃材を下ろすことが出来ました。タイトルは下した木道廃材の重量です。

古い時代に敷設した梯子型の木道で、危険なうえに湿原に二重に敷かれていたなどの理由で湿原の乾燥化に繋がりを、本来湿原には無い植物の蔓延りなど、植生に悪影響を与えています。昨年持ち運び易いように小さくカットしておいたものです。登山者の皆様に協力してもらい、下山時に少しずつ運んでもらうことにしました。

コロナ前だと年間登山者数は四千人くらいでしたが、今年は千三百人ほどでした。全部は下ろせないと思っていましたが、一シーズンで終わらせることが出来ました。何人が協力してくれたか、記録しませんでした。仮に一人あた

### 第118号

2022.10.15 発行

(令和4年)

ユウパリコザクラの会

事務局(菊地)

〒069-0835

江別市文京台南町 53-13

FAX 011-387-1385

携帯 080-6090-1839

E-mail

info@yuparikozakura.org

Website

http://yuparikozakura.org

ようこそ花の夕張岳へ

<https://www.facebook.com/yuparikozakura/>

yuparikozakura/

り三キロとして二百人以上の登山者が協力してくれましたことになり。何と素晴らしい出来事でしょう。今は組織された山岳会の登山が昔から比べれば非常に少なくなりました。ほとんど個人山行だと思えます。その中でこれだけの人が協力して頂いたとは、感動しました。みなさんただ登るといふことだけでなく、この素晴らしい山に登って何かの役に立ちたいと思っているのですね。

一方登山ルートに張った保護ロープが毎年人為的に切断されていることには、どう考えたいのか解らなくなりました。石原平、望岳台と崖側は危険なので太いロープを張りました。これも鋭利な刃物で切断されました。登山道から踏み込まないように張った、六ミリのクレモナロープは、毎年のように切断されています。単なるいたずらでなく何か信念があつてこのようなことがなされているのか？

以前ある団体から、保護ロープは張るべきではない。同じところを歩かせると、土壌が崩壊する。自由に歩くことで土壌は保護されるという考え



昨年の木道撤去・整理の様子。総勢13名で該当木道の撤去&移設&解体作業を行いました。1年経ちましたが、撤去後の跡には水が流れ、完全ではありませんが現場は徐々にまた昔の湿原の姿に戻ろうとしているようです。

を聞いたことがあります。また同じく危険は個人が負うべきで、やたら危険箇所を柵なりロープを張るべきではないとも。五十年以上も前の話を出し、昔は自由に歩いてきた。それにより登山道は守られていたと。私も五十年前に登っています。ユウパリコザクラも足元に咲き乱れていました。第一入山人口が現在と格段に違います。様々な考えがあつていいと思いますが、この切断事件が無くなることを切に願っています。私たちも、垂れ下がったロープが風で揺れ植物を傷めないように、頻繁にパトロールをしなければなりません。また登山者もそのような状況を見たら張りなおしていただきたいを思います。未来の子供たちにこの素晴らしい自然を残すために。

## 鹿島眺望公園に2つ目の看板設置

昨年9月に夕張岳の天然記念物指定25周年を記念して作成し、夕張市教育委員会に設置をしていただいた「夕張岳」の看板に続き、もう1枚「ダムに沈んだ大夕張」の看板が9月22日に設置されました。

もともと鹿島眺望公園は夕張東高等学校のグラウンドを整地してできた公園で、その高台から下には、ほんの少し前（平成26年のダムの湛水開始）まで、大夕張の街の跡地が広がっていました。

鹿島眺望公園にはいくつかの記念碑がありますが、かつて炭鉱で栄えた大夕張の建物跡の碑であり、目の前に広がるシユーパ口湖の下に2万人以上が暮らしていた「大夕張」の街が広がっていたことは、初めて訪問した方にはなかなか想像できません。また市民であっても1998年に鹿島小学校が閉校してからすでに24年が経過している現在、かつての繁栄した街や市民の暮らしぶりなどを知る人も少なくなっています。悠久の代表たる夕張岳と対比させながら、炭鉱城下町の栄枯盛衰を当時の写真を中心に現地で紹介することで、北海道開拓の歴史を物語る貴重な屋外資料の要素を同公園に付することができると考えました。

国道452号線の鹿島眺望公園付近は街道の中でも特に景観の良いポイントであり、ドライブの休憩ポイントで立ち寄る人も多くなっています。道内道外を含めたくさんの方の目に留まり、目の前の自然景観の真

下に、戦後の日本の経済発展を支えた炭坑と沢山の市民の暮らしがあった街が存在していたという事実が大きなインパクトとなって記憶に残り、伝承されていくことを期待し、同時に「夕張岳」の自然の素晴らしさの認知度も向上することを期待しています。

2020年9月6日に行われた「沈んだ街あるき夕張市鹿島地区」イベントには予想を大きく上回る1600人もの方が訪れ、ダムに沈んでしまった街跡も、立派な観光資源の一部であると証明されました。

看板の設置によりダムの満水時にも認知度が向上が期待でき、実際の前回のようないイベント再開時にも、ふるさと探訪目的で訪問した元住人や市民の方の目に留まり、「新しい観光スポット」として紹介されていってほしいものと思います。

内容的には、看板の前に立った時に1分で概要がわかるように写真を多用したものを考えました。視覚的に訴え、文字による説明部分もおおむね3分程度で理解できるような内容にし、校歌などの音源データについてはQRコードでインターネット上の音源にアクセスできるように工夫もしています。

ユウパリコザクラの会は（1）夕張岳の自然保護と次世代への伝承が軸足であること（2）昔から自然と人間の生活文化は切っても切れない関係であること、（3）炭鉱や2万人の人々の生活の裏には夕張岳の自然の恵みが存在していて、人々はその恵みを利用しながら山に愛着を持って生活していたことなどの考えにより看板設置に携わることになりました。

制作においては、鹿島出身で大夕張の歴史



鹿島眺望公園に新しく設置された「ダムに沈んだ大夕張」の看板  
看板は夕張市黄色いハンカチ基金、ならびにリコー FreeWill の助成を受け制作しました。

にも詳しい飯田雅人氏（札幌市西区在住）、同じく鹿島出身で元教員の宍戸光雄氏（長沼町在住）にご協力いただきながら作業を進めました。お二人をはじめ、多くのアドバイスをいただきました皆様に感謝申し上げます。

# ヒュッテ冬囲いも急ピッチに

9月30日で鹿島林道のゲートが締め、夕張岳の今期の登山シーズンは終了しました。毎年の事ではありますが、夕張岳登山口に続く林道は、道内の山の中ではかなり閉鎖も早く、紅葉を楽しみながらの登山も終了となりました。もともと夕張岳に関しては、大雪山系のように紅葉が『売り』の山ではないものの、もう少しだけ落葉した景色も楽しめたら良いのと思っています。向の方も多かるうと思えます。



晩秋の森林とシーズンオフを迎えた夕張岳ヒュッテ

夕張岳は「花の名山」ということもあり、高山植物の開花シーズンである6月、7月に登山者が集中して訪れます。花の開花がなくなる9月には登山者も減り、ヒュッテ宿泊者も減る傾向なので、8月までは毎日管理人を配置して対応していますが、9月に関しては週末のみの配置として週末のみ配置として10月下旬にもなるとヒュッテ周辺では雪が積もることがあるの



冬囲い保護する窓からね返り跳ねる雪の設置を落雪の中

入るとの連絡があり、前倒しで上旬の連休で一気に行うこととなりました。

ヒュッテ周辺は冬の多いときは約2mほどの積雪となります。気温もマイナス20度以下になり、乾いた雪の吹き曝しになりますので、ちょっとした隙間があると雪が吹き込みます。以前、3月にヒュッテに入った時には畳の上に5〜6cmの雪が積もっていたこともありました。屋根は落雪屋根ですが、冬囲い後は暖房を使っていないため、傾斜も45度以下ということもあってなかなか雪は落ちません。ただし雪が滑り落ちた時の衝撃はすさまじく、ガラスが割れたりすることもありました。その保護のための冬囲いや、テントの撤収、小屋回りのベンチやテラスの片付け、2か所ある登山口の標識類・カウンターの撤去、水道設備の水抜き作業、薪の準備や整理などやることは満載です。それでも大体毎年のように同じメンバーで行っているため、要領がわかっている分、皆の行動は早くテキパキと作業をこなしている分、晩餐の食事ではうまい酒を飲みながら一年を振り返ります。

# 今シーズンのパトロール日程終了

6月19日から始まった、高山植物盗掘防止パトロール、森林パトロールについては9月25日に最終パトロールを終え、全日程を終了しました。パトロール自体は特に事故も無く終えることができました。

6月の第1回については、雪解けが例年より遅いと判断により、ここ数年よりも1週間遅らせての開始としましたが、6月に入ってから急激に積雪が減って、6月下旬には例年並み以下になって、予報の難しさを知らされました。

全般的には、パトロールの日程のほとんどが天候は良くなかった状況です。今年は週末に天気があまり芳しくない傾向が多かったように思います。固有種を含めた植物の開花状況などは、概ね例年と変わらなかったようです。

今年については特に盗掘騒ぎなどはありませんでしたが、藤井代表も書いていた通り、1400m湿原に張つてあるロープが切られてしまっていました。数か所小刻みにナイフのようなもので切られて放置されていました。ほぼ毎年のように起こっています。



雨具を着てスタートする憂鬱な登山日が多かった

今後のスケジュール（予定含む）

月	日	各行事内容
10	8(土) -10日(日)	ヒュッテ冬囲い①
	15(土) -16(日) 未定	北海道自然保護連合代表者会議&交流会 ヒュッテ冬囲い②
11	12日(土)	高山植物保護ネット 2022 市民フォーラム(北大農学部大講堂)
	26日(土)	臨時役員会(予定) プロナチュラ成果報告会(東京:菊地)
12	未定	冬季ヒュッテ巡視①
1	未定	冬季ヒュッテ巡視②
2	未定	冬季ヒュッテ巡視③
3	18(土) -19(日)	春山パトロール(予定)
4	未定	総会前役員会

※新型コロナウイルス関連の国や北海道などの緊急事態宣言や要請により、予定は変更や延期になる可能性があります。

北海道高山植物保護ネット

2022年度市民フォーラム開催

北海道高山植物保護ネット  
2022年度市民フォーラム「お花畑は、いま・・・2022」

・日時：2022年11月12日(土)  
13:30～17:00(予定)

・場所：北海道大学農学部大講堂  
(札幌市北区北9条西9丁目)

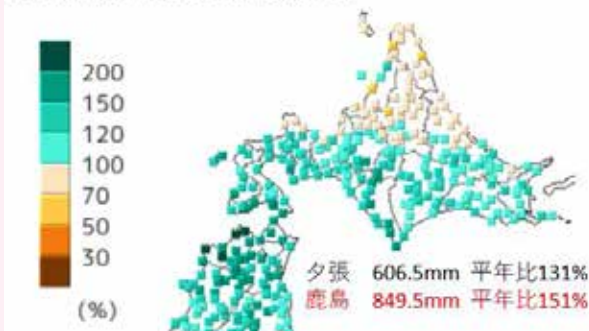
・講演：工藤 岳(北海道大学)  
「地球温暖化と高山生態系」  
梅沢 俊(植物写真家)「ヒマラヤの代わりに近場の花遊び」  
・若手研究者・大学生による研究事例の紹介

和久井彬実(富山県中央植物園)  
「“低地”に生える“高山”植物の謎：コケモモの遺伝・生態特性の標高間変異



降水量 90日間合計

2022年7月21日-2022年10月18日



気象庁のホームページより7月21日から10月18日までの90日間の期間合計降水量を確認すると、夕張岳のある鹿島は平年比151%の約850mmの降水量がありました。度々林道が川のようになり、小石などが小沢から流れてきたり、路肩に浸水し状態が悪くなったため、短い期間ではあったが2回の通行止めとなりました。

	冷水コース	馬の背コース	小計
6月	233	58	291
7月	494	144	638
8月	198	89	287
9月	124	58	182
小計	1049	349	1398

ヒュッテ管理人が、毎日日誌に付けている登山口のカンターから登山者の集計を行っています。登山口のカンターを押してくれた方だけの集計となりますが、上記のような結果となりました。予想では、この数値の2割増し位ではないかと思っています。例年より少なく、7月から8月にかけて雨が多かったのと、週末の天気が芳しくなかった事が要因かと思われます。

登山者集計速報と今年の雨量について

会費の継続納入・ご寄付  
ありがとうございます！

夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方は、ユウパリコザクラの会へ入会またはご寄付をよろしくお願い致します。

年会費 2,000円 家族会員 3,000円

名義：ユウパリコザクラの会

ゆうちょ口座：02780-9-43747

【お仕事の例】

- ・監視パトロール(道委託/森林管理署協定)
- ・ヒュッテ管理人・維持管理(夕張市委託)
- ・高山植物観察員/文化財・森林観察員
- ・各関係団体との交流/広報・庶務作業



夕張岳ヒュッテの維持管理  
と炊事棟建設にご支援を！

今年度は局地的な豪雨で2度の林道通行止めがありました。また週末の天気が良くない傾向にあり、登山者も例年に比べて少なかったようです。宿泊協力金も減となりました。しかしヒュッテの募金箱や募金口座などにたくさんの温かい寄付をいただきました。来年度に残る行事が無事できるように、新型コロナウイルスの終息を願いたいと思っています。

名義：ユウパリコザクラの会

ゆうちょ口座：02780-9-43747

(ヒュッテ用口座はコザクラ口座に統一されました)

